

公開セミナー

## POP (プロセス・ワーク) で学ぶ心理臨床

病態水準、健康次元とプロセスワーク

～神経症、人格障害、統合失調症の各水準の違いを  
ディープデモクラシー(深層民主主義)の立場から学ぼう!～

◆**講 師** **富士見ユキオ** 認定プロセスワーカー、臨床心理士  
アーノルド・ミンデルに師事し、日本で POP の臨床実践活動を展開している臨床家

◆**アシスタント** **岸原千雅子** 臨床心理士

カウンセリングに訪れた方をどのように理解したらよいでしょうか? 理解の仕方には多種多様なものがありますが、必ずおさえておかなければならない見方の一つに「病態水準」があります。

病態水準は大まかに言うと、神経症、人格障害、統合失調症水準がありますが、カウンセラーは、来談者や来談者の問題や訴えが、どの病態水準、健康次元にあるか、を適切に見極め、見立てられなければなりません。そうでなければ、病態/健康水準の違いを無視し一面的なアプローチをすることになり、ある病態水準を周縁化(マージナライズ)することになりかねません。プロセスワークは無条件にどの病態水準にも適応可能な普遍的なものではなく、他のセラピーや心理療法と同様、病態水準を見定めることで多様な訴えに役立てることができます。

このセミナーでは、神経症、人格障害、統合失調症の水準の違いに対する基礎を学びます。また、一次プロセスと2次プロセスとの病態/健康水準の相違について考えます。プロセスワークや病態水準の基礎、ならびに応用、実践、臨床に関心のある方々のご参加をお待ちします。

**\*日 時** 平成 21 年 7 月 18 日(土) 10:00 - 16:00

**\*対 象** 心理臨床に携わる専門家および大学院生 (定員 80 名)

**\*受 講 料** 1 日 4,000 円 (但し、本学大学院生無料)

**\*場 所** 京都文教大学 常照館 2 階 ダンス療法室

**\*申込方法** 京都文教大学心理臨床センターに住所・氏名・連絡先・所属を明記の上、FAX にてお申し込み下さい。定員になり次第、締め切らせて頂きます。

<お問い合わせ>

〒611-0041 京都府宇治市横島町千足 80

京都文教大学心理臨床センター

TEL 0774-25-2518

FAX 0774-25-2844